

蒲田東特別出張所管内

人口	男	23,591名
	女	22,033名
	計	45,624名

世帯数 28,021世帯

平成31年1月1日現在

かまた東

★発行
地域力推進
蒲田東地区委員会

★編集
地域情報紙「かまた東」
編集委員会

★事務局
蒲田東特別出張所
蒲田本町2-1-1
TEL (5713)2001

住民第一の自治会運営 蒲田一丁目自治会



今回紹介するのは、蒲田一丁目自治会です。この自治会の区域内には、中学校と小学校があり、蒲田駅へのアクセスが良いことから、朝夕には多くの人が通ります。今回は、佐々木会長に活動の一端をお伺いしました。

住民広報を重点に

佐々木会長は、以前証券会社に勤めており、自治会役員になる前に自治会がどんな活動をしているかが分からなかったそうです。このことから、住民の皆さんが自治会の活動を理解してもらうことに努めています。その一つが、掲示板を新しくすることでした。ちょうど創立六十五周年にあたっており、自治会活動の活性化につながるものはないかを考えた結果、会員との架け橋になる掲示板を新しくすることと回覧用の「自治会通信」等の発行でした。

掲示板には、自治会活動の予定を掲載、「自治会通信」では様々な情報を紹介し、自治会活動の『見える化』を図っています。

住民が集う会館

毎月第三日曜日に、住民誰に

も自治会会館を自由に開放する「ダレデモ・サロン」を実施しています。

これは、十年ほど前から行っているもので、今までは、マージャン、手芸、本読み、水墨画などでしたが、最近ではテーマを決めて、ゴミの出し方や熱中症の予防法など、生活に役立つ講座を開いています。

私がお伺いした時には、熊谷清美先生指導の「一〇〇才バンザイ体操」をやっていました。参加した人は、大きな声を出し、快い汗をかいていました。

男性がマージャンをやっていたので、年齢を聞くと八九歳と九〇歳。「毎月この日が来るのが待ち遠しい」とおっしゃって



100才バンザイ体操で健康長寿

いました。会館が住民の憩いの場所となり、シニアの居場所となつていきます。

防犯カメラで町の安全

今年春、区内十三ヶ所に防犯カメラが設置されます。その費用を聞いてびっくりしました。カメラ一台約四七万円が、十二分の一の約三万六千円で取り付けることができるそうです。

東京都と大田区の助成金を活用するもので、以前は六分の一の資金が必要だったので、二〇二〇東京オリンピックに向けて犯罪のない東京を目指して、通常より多くの助成金が支給されるようになったようです。

維持費も気になるところですが、一日あたり一〇四円ほどだそうです。設置に向けては、約一年かけて住民の説得に当たったそうです。住民からの意見の多くは、プライバシーをどう保つかで、「会長や役員に監視されているのでは」という意見に対応して、モニターは見ることでできないようにし、カメラ内のメモリを警察等が確認する方式にしたそうです。

子供が楽しく

自治会では、世話をする人の高齢化で夏祭りの子供神輿が途切れていたが、昨年復活しまし



野菜などの詰め放題を楽しむ子供たち

た。若い人に手伝ってもらおうと考え、掲示板に募集広告を出し、蒲田小学校お父さんの会にも声を掛けました。

すると十五人が協力を申し出てくれ、うれしい悲鳴となりました。お父さんたちが午後には大人神輿を担ぎ、子供たちが応援するという微笑ましい光景もあつたそうです。また、夏休みには、子供イベントもやっています。町内の給食センターで小ぶりなジャガイモやニンジンなどを調達してもらい、子供たちに野菜とお菓子の詰め放題を楽しんでもらうのです。

このイベントには、女子プロバスケットボールの東京羽田ビッキーズの選手も参加し、盛り上げてくれました。このイベントは、自治会の後継者発掘にもなっているようです。

(編集委員長 阿部慶二)



交通安全運動

蒲田本町一丁目町会

高橋 勇

昨年九月二十一日から三十日までの間、秋の全国交通安全運動が行われました。我が町会はテントを張る場所がなく、バス通りに面した家の軒下が長く張り出した場所で旗を持ち、たすきを掛け二名ずつで、警戒に当たります。

付けて通る姿が良く解ります。

この事からも少しは、効果があると思います。お陰様にて十日間事故も無く終わる事が出来ました。最終日の夜は御苦勞様という事で感謝をこめて慰勞会を町会会館にて行いました。交通部長を始めとし、約三十名の参加がありました。

これも、人生の巡り合い

蒲田四丁目町会

鷹取 シホリ

三十分で交代、参加者は町会会館にてお茶を飲み、町会の行事など話し合っています。大雨の時は出られず会館に待機しています。昨年の秋は雨が多く少し困りました。

警戒に当たっていると色々な方が通ります。時々危ないですよと声をかけたりします。御苦勞様と云って下さる方、もつと旗を持って交通整理をしろ！と云われたりします。警察署からのお話で「交通整理はせず警戒だけでトラブルにならない様に」と云われているので余程の事以外は場所を離れる事は有りません。旗を持って警戒していると車や自転車の運転者が気

なりました。

いやいや、それにしても、昨年の夏の暑さ、半端でなかった。強烈な夏の陽ざしが容赦なく照りつけ、命をおびやかす危険な状態を実感した。連日、記録的猛暑日が続き、予定されていた行事やイベントはやむを得ず変更中止を余儀なくされた。

幸いにも、恒例の蒲田八幡神社恩祭礼、去年は御社殿復興六〇周年記念と相まって、いつも増して賑やかに活気を呈し、無事に執り行われ、あでやかに着飾ったお稚児さんの幼子達さらに花を添え、ことほぐ日となりました。

平成も余すところ僅かとなりました。新たな元号を迎え、どのような未来が開けるのでしょうか。頻発する自然災害、どれほど発散すればおさまるのでしょ

うか。地球にとつては小さな地表の変化にすぎなくても、甚大な被害となつて身に迫る。複数

の大陸プレートがせめぎ合う列島の過酷な現実と向き合わざるを得ないとしたら、予測のつかぬ事態にも備え命を守る。災害リスクに上限はありません。

団塊同世代が間もなく大挙して老いていく時代がやってきます。「今生のいまが侍せ」をむねに耐力を養い、人生一〇〇年時代を進めてまいります。

町会活動に参加して

本蒲田一丁目町会

大場 重徳

平成二十九年四月度から本蒲田一丁目町会の役員として任命されてから一年十か月が過ぎました。最初は自分がどこの町内に属しているか分からずに過ぎていきましたが、きっかけは家内がマンションの町会担当役員になつてから、少しずつ色々な行事に参加するようになったことです。

サラリーマンを辞めてからこのような形で地域活動に参加できるとは思いもよりませんでした。

た。おかげさまでご近所の方にも「おはようございます」「こんにちは」など気軽に挨拶をするようになりました。

また、交通安全・防犯・防災などのパトロールを通じて初めて歩く路地があることに驚いたり、他町会との境目がどこまでかを知ることができました。

様々な方々が一年を通じて、地域を住みやすくするために、いろいろ活動に携わっていきます。私も少しはお役に立てるように参加していきたいと思っております。

私の「ご近所さん」感

蒲田一丁目自治会

佐藤 広明

私は、生まれは千葉市川、育ちは兵庫西宮。今年で三六歳になりました。今住んでいるのは祖母と伯母が生前に住んでいた家です。数年前仕事で越してきました。今は嫁と子供と三人で暮らしています。

去年、順番で回ってきた組長をやらせていただいた時に、現会長さんにお声がけをいただき自治会に深く関わるようになりました。

ところで、皆様にとつて「ご近所さん」とはどのような存在でしょうか。私が多感な年頃を過ごしたマンションは、百世帯以上の大きなものでした。にも

かかわらず、顔と名前が一致する人が数人しかいませんでした。見覚えのない人に会つても、不審者なのか住人なのか全く見分けはつきません。

私の「ご近所さん」は顔も名前も良くわからない、ただ同じ建物に住んでいる人だったので

自治会に参加するようになり、私の「ご近所さん」感は大きく変わりました。

道端で挨拶をしたり、お子さん大きくなったね、と覚えていてくださったり、防犯と一緒に夜間見回りをしたり、そこには全く知らなかった、温かな「ご近所さん」の世界がありました。

私の子供はもうすぐ二歳になるうとしていきます。

この先、幼稚園・小学校と進学をしていきます。私自身がかつて感じる事の出来なかった、暖かな「ご近所さん」のいる生活を感ぜながら成長していくことではないでしょうか。

そんな蒲田も時代の流れとは言え、大型のマンションが増えてきました。しかし防災防犯や、祭りといった地域イベントを通じて、これからも素敵な「ご近所さん」を形成していけたら良いなと思います。

待ちに待った新しい子供神輿

蒲田二丁目町会

大澤 義光

理事になった当初から町会の念願になっていた子供神輿を新しくする案件は、近年奉納金が減少していて、お祭りの運営費で精一杯の状態が続き実現できないうで来ました。一昨年お祭りの後に会長から会計担当者としてこれまで諸先輩が残した奉納金で新規購入を検討してくれと言われました。購入後の厳しい状況を思うと二つ返事で分かりましたと言えませんでした、厳しい現状を乗り切るための対策について会長を中心に主だった理事を招集して話し合った結果、理事会で了解を得て念願の子供神輿を十二月に購入しました。



新しい神輿でワッショイ

平成三〇年四月二十一日。待ちに待った神輿が到着し、葎田神社で新・旧神輿交代の儀式を行いました。その後お祭りまでの間に、町会ニュースで神輿の紹介、梅交会挨拶回りなど話し合いで挙げられた対策をすべて実行して、天気にも助けられお祭りは大盛況のうちに終わりました。

ご協力を頂きました皆様方へ厚く御礼申し上げます。
高齢化社会
蒲田公団自治会
高橋 章司
超高齢化社会となった今日の頃です。団塊世代の私も六十九歳、来年は古希を迎えます。年賀状の季節です。友人から来る喪中につき・・・の葉書には父九十四歳で永眠、九十七歳で永眠致しました等々本当に長生きされています。たまに新聞で高齢者孤独死の記事を目にしますが、我が団地でも対策を迫られる問題であります。如何にして一人ひとりに向きあい対話できるかが大切だと思います。

ひとつの考察として各階に見守り隊を置き、常日頃から新聞は溜まってないか(昨今は減っています)、救急車で運ばれた人はいないか等をチェックする必要があります。見守り隊はこれらの方々を訪問し、詳細を把握し、月二〜三回見守り隊の会合で共有し対策を練っていく。それには顔の見える普段からの

声掛け、又は団地行事への多くの方をお誘いする事から始めていきましょう。
群盲象を撫でる
南蒲田三丁目町会
千思万考(ペンネーム)
これは、昔生まれつき目の見えない人達が象見物に行った時の出来事で、初めて象に触れた感想を述べたものです。
足に触れた人は象は柱の様である。尻尾に触れた人は箒の様である。腹に触れた人は壁の様である。鼻に触れた人は象の太い管の様であると様々に語り、触れた場所によつて違つて当然、自分の意見が正しいと一歩も譲りません。
其の様子を見ていた目の見える人達が象の全体が見えますから、あまりの愚かさに失笑しました。そこで高貴な人が笑った人達に対して我々もこの人達のようなものであると仰せになり、笑つた人達をたしなめられました。
ここで注意しなければいけないことは、目の見えない人達は直接象に触れ、正直に感想を述べたのであつて、誰も嘘をついていないという事であり、物事の一部を指して全体であると思つたならばそれは大きな過ちであると思ひます。心理を

得ることの難しさを教えられた譬えであります。
我々も生活の上にならぬに於いても「群盲象を撫でる」が如きを繰返しているのではないでせうか。物事の全体を見通す事は出来ないかも知れませんが部分を拵げて全体に近づくよう、無知や偏見を是正していくという努力をしていきたいと思ひます。
人の心は非常に変わり易い物です。今思つていた心が次の瞬間、別の事になつてしまつて、其の様子を沢庵禪師は次の様に謳っています。
心こそ心迷わす心をれ
心こそ自分が自分を惑わすものだから自分が心に思う事、感じる事又自分の心の動きに気を許すな。キチンと管理しなさいとの意味だと思ひます。
(現在では、使用されない表現がありますが、作者の意思を尊重して、原文のままとしました。)

許を取つてからはトラックも運転するようになり、町内会の活動に「参加」ではなく「携わる」ようになりました。
資源回収、餅つき、祭り、運動会、春と秋の交通安全、防災訓練、夜間パトロール。行事当日だけではなく、準備を合わせると、年間三十日は町内会の活動を行つています。
直近だと、運動会がありました。競技の打ち合わせ、機材や景品の準備、当日の設営を行つています。
百発入りのスターターピストル用の火薬を、二箱買い使い切りました。パン食い競争では、パンを持つている人が一緒に走り始めてパンが逃げたり、スプーンレースでは、スプーンと玉を拾いにくく置いたり、参加される方だけではなく、準備する方も楽しそうに行つています。男女対抗の綱引きは、三年連続で女性陣が勝ちました。男性陣は本気で悔しがつていたので、来年こそは勝つてほしいです。
次は餅つきだから少し先だねと話していましたが、きつとあつという間に、準備しなければいけない時期になると思ひます。「毎年同じこと」ですが、「継続する」ことは大変です。これからも同じように町内会の活動を続けていきたいと思ひます。

二丁目町内会での活動

南蒲田二丁目町内会

高田 和男

最初は小学生の時、月一回の資源回収を、新聞・雑誌の回収をリヤカーで手伝う程度でした。八月のお祭り、十月の運動会も「参加」する側でした。車の免

リーダー19



南蒲田三丁目町会長

平塚 忠さん

今回は、十九自治会町会で、最高齢の平塚さんにお話を伺いました。昭和六年一月生まれの八八歳。米寿を迎えられました。

町会活動が長生きの秘訣

顔はいかついのですが、いつも笑顔を絶やさない人です。びつくりしたのは、毎月行っている会議資料は、ご自身が作成しているというのです。パソコンに向かって、手を動かすことは、ボケ防止にもなっているそうです。

「やってみせ、言ってみせ、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」とは、山本五十六の言葉です。それを町会運営の基本としていて、役員さんが成果をあげると必ず褒めてあげる。怒ったことはないそうです。マンション住民が町会に入ってくれないのが各町会共通の悩みですが、会長は自らマンションの管理会社に出向き、防災面など加入のメリットを説明し、ほとんどのマンションを加えさせています。また、役員の後継者不足も大きな問題ですが、地元小学校PTAのお母さんたちと毎年二回、町会会館で座談



会を行っていることで、子供祭りなどの町会行事には、多くのお

母さんたちが係員として参加してくれるそうです。町会には、三階建の一度に百人が集まることのできる会館があります。これは、会長が副会長時代に建築したもので、地元銀行からの融資や行政からの助成の申請などを主にならせたそうです。返済は、会員からの寄付によったのですが、地元銀行員に集金させるなど、周囲からの協力も得ています。総工費約一億円を五年で完済したそうです。すごいですね。商社の営業マンの頃、当時の自治会長に見込まれ交通部長を皮切りに、副会長、会長とその行動範囲を広げています。他人とのコミュニケーションが好きだというセンスと褒める町会運営は、営業マンとしての経験が遺憾なく発揮されています。「町内会活動は、生活の一部であり、楽しい。」とは、会長の弁。現在でも、保険の代理店を行っているとか。生涯現役の平塚さんです。

地域再発見

ライオン池とビートルズ

当紙の編集委員は昔、大田区総合体育館の場所にライオン池という名前の池があったと言う情報を頼りに調査を開始した。

両国のライオン(株)を訪問。

社史資料室長の松村伸彦氏から話を伺った。氏曰く、「地図を見ると、確かに池がありますが、ライオン池と言う名称はなく、社史を見ても池名はありません。東蒲田に本社があったのは、昭和十二年十二月から十九年の七年間。数千坪の敷地の中に池がありました。白いエプロンを着た子供達が、おたまじゃくしをすくっている写真は残っています」。

ある編集委員から、「疎開先から戻ると一面の焼け跡の中に黄色のビルと池があり子供達の遊び場になっていた。」と言う情報を得る。ライオン創業者の小林富次郎氏は、敬虔なクリスチャンであり、「愛の精神で社会に貢献をする」という理念で会社を起した人。敷地内で子供達が遊ぶのは大歓迎だったのだろう。子供達の合言葉「ライオン



ライオン池で遊ぶ子供 (昭和13年)

の池で遊ぼう」から、いつの間にか「ライオン池」と呼ぶようになったのではないかと

推測された。ここで、面白い話を聞いた。一九六六年のビートルズ日本公演のTV放送は、ライオンが単独でスポンサーとなった。NHK朝ドラ「ひよっこ」を見た方もいると思うが、歯磨き粉か制汗剤のbanを買って応募すると入場券が当たるキャンペーンを実施し、当選者五千人が招待されたという。読者の中にも当選した方がいらっしやるのでは？ (編集委員 山崎礼子・藤井香子)

サギ劇場

でも大丈夫!!

ちょっと待って!!

でも ATM の手続き教えます!

警察へ

区役所です。還付金があります。ATMで手続きできます。着いたら電話して

やったことないしわからない...

蒲田警察署 犯罪抑止対策

03-3731-0110 内線2162

※ これは実話で 詐欺 ですよ!!

管内における特殊詐欺の現状は、被害件数39件、被害額約1億円を超えており、特に多い手口は、「オレオレ詐欺」次いで、「還付金詐欺」となっています。電話で「ATM」ときたら、まず、蒲田警察署へご連絡ください。よろしくお願いたします。 ※ 12月末現在